

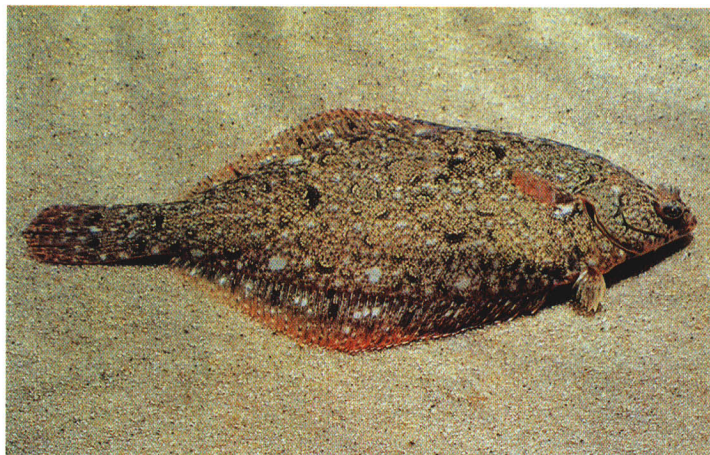
カレイ科

マコガレイ

学名 *Pleuronectes yokohamae*

英名 Marbled sole

- 展示場所：ふくしまの川と沿岸
- 対象：小学校
- 教科：国語
- 学年：3年上
- 出版社：東京書籍
- 大きさ：45cm
- 分布：北海道南部から大分県



特徴

水深100mより浅い砂底や砂泥底に生息しています。マガレイによく似ていますが、眼と眼の間に鱗があることや、体の裏側に黄色い帯がないことで区別ができます。

産卵期は、12月から4月で、水深10～60mの砂地にカレイの仲間ではまれな、水に沈む付着卵を産みます。孵化したばかりの仔魚は、体の両側に眼がありますが、体長7mmほどで眼が移動しはじめ、体長10mmほどで完全に眼が移動し、稚魚となります。

成魚は、多毛類、甲殻類、二枚貝類などの底生生物を食べています。

身はたいへんおいしく、刺身や煮付け、唐揚げなどにして食べられます。

サバ科

マサバ

学名 *Scomber japonicus*

英名 Japanese mackerel

- 展示場所：黒潮大水槽
- 対象：小学校
- 教科：社会
- 学年：5年上
- 出版社：東京書籍
- 大きさ：50cm
- 分布：全世界の亜熱帯、温帯域に分布



特徴

サバ科の魚は、遊泳力に富み、大型になるものが多いことから、水産上重要な種類が多く、日本の近海には、11属21種が分布しています。

マサバは、ヒラサバ、ホンサバとも呼ばれ、大群をつくり沿岸の表層域を遊泳し、まき網、定置網などで漁獲されます。

締め鯖、鯖寿司、塩鯖、缶詰などとして賞味されます。